

「第10回 土木設計関係技術発表会」 発表概要書

| | | |
|------|----------|-------------------|
| 発表内容 | 事例名（業務名） | 令和4年度山口管内附属物点検業務 |
| | 業務発注者名 | 中国地方整備局 山口河川国道事務所 |
| 発表者 | 所属協会名 | 山口県測量設計業協会 |
| | 所属会社 | (株)宇部建設コンサルタント |
| | 発表者名 | 徳原 裕輝 |

発表事例の概要

＜図表も含め1000字(40字×25行)程度以内＞

①業務の内容と技術的特徴

【業務の目的】山口河川国道事務所が管理する門型標識等、道路標識、道路照明施設及び道路情報提供装置の定期点検を行うことを目的とする。

【業務の課題】

- 1) 道路規制が必要な点検対象施設が近い距離に点在する。効率的な交通規制計画が必要である。
- 2) 国道2号は夜間も交通量が多いため、道路交通規制時の交通事故防止対策が重要である。
- 3) 現場作業期間が計画以上に長くなる可能性があるため、内業、外業を含めた工程管理が重要である。

②高評価の要因

- 1) 新技術や新しく実施する内容に対応できた（新技術の活用、データベースへの登録、オンライン電子納品など）
- 2) 品質確保に向けて、十分な品質管理体制を構築することができた。
- 3) 緊急的な対応ができた。（広島サミット実施に向けた緊急点検）
- 4) コスト縮減の成果を示すことができた。

【総合評価方式での受注】

設計業務で総合評価方式での受注につながったため、受注に向けた留意点を示す。

- 1) 国交省業務では高い業務評価点を積み重ねていく必要がある。
- 2) 当該事務所管内の同種業務実績がある人を管理技術者とする。
- 3) フローや工程表と業務数量を特記仕様書に対して正確に書く必要がある。
- 4) 業務に関する知識、有益な代替え案、重要事項は、自社の技術をアピールする必要がある。

③業務遂行上、苦勞した点と工夫した点

【苦勞した点】

- 1) 道路規制計画を含めた安全管理
- 2) 内業、外業合わせて全体の工程管理

【工夫した点】

- 1) 新技術導入による業務効率化やコスト縮減の検討
- 2) 情報共有システム（ASP）による提出書類の共有

* 概要書記載上の留意事項

- ①業務の内容、技術的特徴等を簡潔に記載
- ②表彰に至る高評価の要因等を簡潔に記載
- ③業務遂行上、苦勞した点や工夫した点等を簡潔に記載

* 発表資料作成上の留意事項

- ①パワーポイントにて25枚程度以内に簡潔にまとめる
- ②上記の概要書記載上の留意事項①～③に留意して作成